

♥ お知らせコーナー ♥

善意銀行

11月28日 預託者 植木 義雄氏 金10万円 亡母 マツ様の香典返しとしてありがとうございました。

赤い羽根共同募金

大津島地区自治会連合会は赤い羽根共同募金活動を行い、￥198,250円を共同募金会徳山支会へ11月28日贈りました。ご協力ありがとうございました。

しめ飾り作り教室

自分の力で、しめ飾りを作つてみませんか。受講料は不要です。
最寄りの会場で受講下さい。

12月20日(金)馬島公民館で午前10時30分~

12月21日(土) 大津公民館で午前 8時30分~(ハサミと糊を各自用意)
◎もう一度確認! しましょ。

⑥もう一度確認しよう。

※エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機
は定期収集に出すことは出来ません。

エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機を処分するときは家電リサイクル法（平成13年4月施行）に基づき次の方法で処分しましょう。

1. それを購入した小売店か、同じ種類の製品を買おうとしている小売店に連絡します。
 2. 小売店に引き取ってもらう時に料金を支払います。リサイクル料金と収集運搬料金が必要です。
 3. 小売店で引き取ってもらえない場合は、次の方法で処分しましょう。

*郵便局に備えつけのリサイクル券に必要事項を記入し、料金を振り込みます。

(1)市へ収集運搬を依頼する場合⇒市清掃事務所(☎28-0019)へ電話で申込み⇒収集時に収集運搬料金を支払います。

(2)自分で指定引取場所へ運ぶ場合⇒引取場所はリサイクル家電製造業者によって異なりますのでご注意下さい。お問い合わせは市環境対策課☎22-8303へ
◎編集後記…限られた紙面ですが、地域の皆さんに役立つ記事を掲載したいと

考えています。情報、ご意見などお寄せ下さい

潮流

第117号

平成14年12月5日

大津島地区コミュニティ推進協議会

ポテト健康マラソン大会

「人、夢、心をつなぐ ポテトマラソン」をスローガンに第13回大津島ポテト健康マラソン大会が12月1日(日)開催され、2・3・5・11キロメートルの部と今大会から新設されたウォーキングの部に349人が参加、午前10時大津島小学校前を順次スタート、初冬の大津島を沿道からの多くの声援に励まされながらのマラソンと、素晴らしい眺めにみどれながらのウォーキングを楽しみました。

この大会の運営に当たられた役員の皆さん、温かい応援をして下さった島民の皆さんありがとうございました。



写真は2kmの部

大津島ふれあいツアー

11月16日（土）馬島地区を会場にふれあいツアーが開催されました。早朝からふれあいツアーの準備に関係者は多忙を経験しましたが、参加者を乗せた「フェリー大津島」が到着する頃には会場の準備もすっかり整えられていきました。穏やかな天候のなか、一行は主催者から歓迎・説明を受けたのち、早速会場に急行、所狭しと並べられた旬の新鮮で格安な農・水産物に目を見張りながら買い物を楽しみました。中でも人気のあったのが、活魚水槽で泳ぎ廻る真鯛・チヌ・セイゴ等で良く売れていました。買い物の後は、回天記念館や島内名所の観光・なぎさ特製の弁当と漁協婦人部の海賊鍋に舌つづみをうちました。

亥の子祭

今年も11月の第一亥の日（15日）に、馬島地区に昔から伝わる亥の子祭を、幼稚園、小学校合同で行いました。

無病息災、家運隆盛、五穀豊穣を願って、子どもたちが亥の子の石をついて家々をまわりました。訪問させていただいたお宅では、温かく迎えていただき、お礼や励ましのお言葉に加えて、ご芳志までいただきました。幼少の子が多く、途中で飾り笠や亥の子石などを運ぶことに疲れていた子どもたちには、何よりの勇気付けとなりました。

地区の皆様のご厚情に触れ、自分たちがこの地区の一員であることに、より一層の誇りと喜びを持ったことと思います。亥の子石を作ってくださった高松嘉吉さん、古城久槌さんをはじめ、多くの地区の皆様に助けていただきました。心よりお礼申し上げます。

大津島小学校



余めの書意

大津島ボート健康マラソンは、島の活性化・生涯スポーツの普及やマラソン愛好家の掘り起こし等を願って年毎に盛況をみせていますが、その蔭には多くの善意が寄せられています。

中でも、本浦の安達壽富さんから大会役員用のウインドブ레이カー（継続使用）160着（34万円相当）の高額寄付をいただき一層の盛り上がりをみましたことをご報告いたしますと同時に心からお礼申し上げます。

大会実行委員長 石丸 達

竹炭づくり体験

11月29日（金）老人クラブ睦会では、環境浄化活動の一環として大津島で盛んに行われるようになった竹炭づくりを体験しました。

大津山の旧兵舎跡地を会場に、砲台山竹炭生産グループの指導を受けて孟宗竹の切りだし・切断・竹割り・釜の火入れ等を実地に行いました。

数日経て釜出しをしたところ、黒々とした立派な竹炭となっており思いの外良い出来ばえに皆大喜びでした。

